サステナビリティ推進基本原則の制定

当社は、サステナビリティの推進を「事業を通じて持続可能な社会の実現」に貢献するだけに留まらず、「自らの持続的な成長を実現するための機会」とも位置づけており、事業活動の両輪と見なしております。

この両輪を実現するための４つの原則を「サステナビリティ推進基本原則」として定め、これら原則に沿って事業活動に取組んで参ります。

原則1：経済価値創造と社会課題解決

当社は、創業以来培ってきた有機合成技術と生産技術を常に進化させ、幅広い産業を支える基盤となる製品、豊かで快適な社会の実現に資する製品を提供・開発し続けることで、経済価値創造と社会課題解決を実現していきます。

原則2：リスク・クライシス対応

当社は、自然災害や事故などのリスクに備えた危機管理体制を整備するとともに、気候変動や社会的な環境変化に対してもサステナブルな製品を開発していきます。

原則3：人的価値

当社は、社員一人ひとりが新たな価値創造の担い手であり、会社の成長の源泉であると考えています。社員一人ひとりの能力と多様性を尊重し、継続的な学びと働きがいのある職場づくりを進めることで、人的価値を高めていきます。

原則4：地域コミュニティ

当社は、地域社会との信頼関係を大切にし、対話や情報開示、交流及び貢献を通じて、地域に根ざした企業としての責任を果たすとともに、共に発展する関係を築いていきます。

取組み内容

当社は、サステナビリティ推進の取組み例として、次のような取組みを行っております。

（原則2: リスク・クライシス対応についての情報は33ページを、原則3: 人的価値に関する情報については20・21ページをご参照ください。）

原則1：サステナビリティ対応製品・技術の開発

GHG排出削減や資源循環などの環境問題は大きな社会問題である一方、それら問題の解決に資する製品や技術については、今後需要の拡大が見込まれており、新たな事業機会でもあります。当社は、フルオレン誘導体の製造技術の改良や高機能絶縁被覆材、バイオ可塑剤、光学樹脂（プラスチック）のケミカルリサイクル技術の開発など、社会問題の解決に資する製品や技術を開発しております。

【サステナビリティ対応製品・技術の例】





原則4：地域との交流

化学工場という性質上、地域社会の皆さんのご理解と、信頼関係の構築は重要な要素となります。当社は地域自治会の方を対象とした工場見学会、地域清掃活動への参画、TAOKA農園で収穫した野菜の寄付、小学生を対象とした理科実験教室の開催などを通じて、地域の皆様との交流を行っております。


淀川工場工場見学会


社会福祉協議会を通じた野菜の寄付活動


地域自治会一斉清掃活動への参画